

第8回「防衛力変革推進本部」における 防衛大臣冒頭御発言

本日の議題は、①認知戦と戦略的コミュニケーション、②情報関連機能、③防衛と経済の好循環についてです。

まず、認知戦と戦略的コミュニケーションについてです。

防衛力強化の必要性について、正しい理解を持っていただくため、情報発信の強化は欠かすことのできない要素です。

このため、毎週2回という高い頻度で、私、報道官、統幕長、そして陸・海・空の各幕長による記者会見を行っています。防衛省ほど会見を多く、透明性をもって実施している省庁は他にありません。

安居院報道官の下、我が国が国際社会に対して積極的に発信していく、新しい段階に入ったことを頼もしく思います。

次に情報関連機能。

とりわけ、A Xの推進は、自衛隊の組織・業務の在り方を変革するための重要な要素です。あらゆる組織にとって人こそ力であり、自衛隊にとっては、人こそ全てです。今後の自衛隊は、今いる人を何よりも大切に作る組織でなければなりません。

吉田A X推進チーム長の下、A Iを含むデジタル技術を日々の業務に取り入れ、人の業務負担を軽減し、人がやるべき任務については、大切な人に遂行してもらう、この取組を進めて参ります。

最後に、「防衛と経済の好循環」。

経済の成長には、安定した安全保障環境が欠かせず、防衛力を強化することで、我が国経済が成長できる環境を作ることが重要です。

さらに、衛星、通信、GPS、インターネットなど、もともと軍事技術から生まれ、私たちの生活を豊かにしているものは多くあります。特に近年は、最先端の科学技術に関して、民生用と安全保障用の区別が難しくなり、デュアルユースの分野も広がっています。特に、無人機や宇宙・サイバー・A Iは、「新しい戦い方」を踏まえた我が国の「新しい守り方」にとって重要であり、我が国の強みを生かせる分野でもあります。

今後、防衛力強化を進めていく中で、

- ① 防衛力強化のための投資が民生市場での競争力の強化につながり、同時に、
 - ② 民生市場での取組によって高まった生産・技術力が防衛装備品の質と量の向上につながる、
- このような「防衛と経済の好循環」の実現を意識する必要があります。

本日も、防衛力の変革に向け、従来の発想にとらわれない活発で率直な議論を期待します。